

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会学校教育部 学校教育推進室 令和2年6月3日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

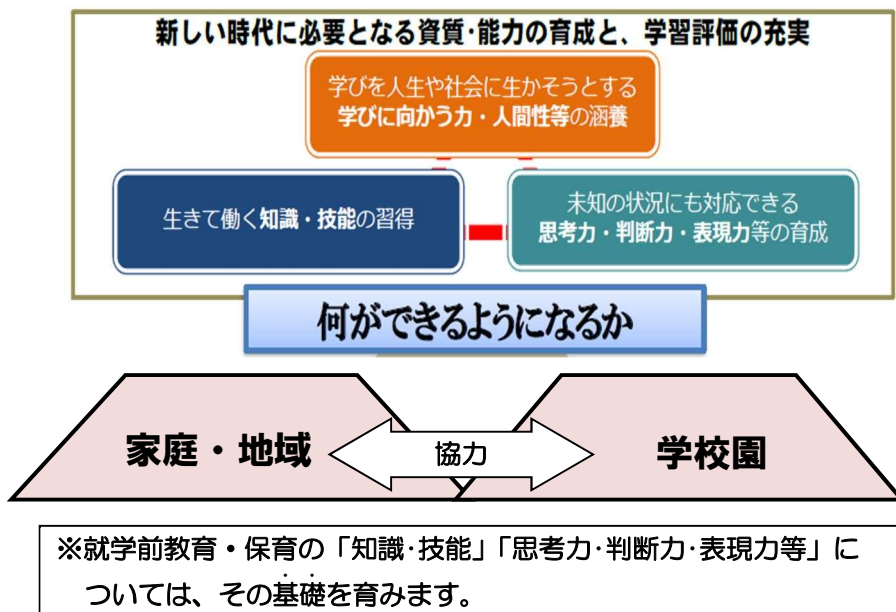
- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

令和2年度 東大阪市の学力保障の取組み

今般の休校期間中及び学校再開後、先生方が何度も協議を重ね、子どもたちの安心・安全に留意し、学びの保障に向けて日々の取組みを進めていただいています。

今年度より、小学校は新学習指導要領の全面実施、中学校でも来年度の全面実施に向け、各校においては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習指導の改善に取り組んでいるところです。特に今年度においては、3月からの休校措置に伴い、家庭学習を効果的に活用し、主体的に学ぶ活動につながる授業改善を意識することが必要です。

休校中に生活習慣が乱れたことも考えられるので、生活習慣を整えつつ、家庭学習を習慣づけられるよう「学びの環境づくり」に、学校園と家庭で協力し、共に取り組んでいきましょう。



<学力向上支援コーディネーターの取組み>

東大阪市では、「東大阪市標準学力調査」や「学びのトライアルアンケート」をはじめ、さまざまな調査を実施し、児童生徒の学力・学習状況の把握に努めています。その結果から明らかとなった課題に対応するため、平成21年度より全小中学校に学力向上支援コーディネーターを位置づけ、学校総体として組織的な学力向上の推進に取り組んできています。

本年度の学力向上支援コーディネーター連絡協議会では、休校期間中の家庭学習や学校再開後のカリキュラムマネジメント等を情報共有することが大切であると考えています。各校の現状に応じて、学力向上に向けて今できる取組みや、今必要とする取組みを進めることができるよう進めてまいります。

家庭用学習サービス「eライブラリ」の運用について

臨時休校により家庭学習の時間が長引く中、子どもたちに少しでも学習の機会を提供していくため、ご家庭のパソコンやタブレットを用いた学習である「eライブラリ」の試行実施を始めました。

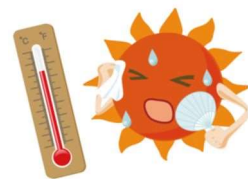
各学校においては、家庭学習として「前年度の学習の復習」を課す等の運用を試みっていますが、児童生徒のみなさんが自ら進んで、「自主的な学習」も進めることができます。

ご家庭にパソコンやタブレットのないご家庭には、学校からプリントが配付され、定期的に回収を行い子どもたちの学習状況の把握に努めています。

まだ試行実施の段階ですので、ご意見もいただきながら、運用を重ねていきたいと考えています。

熱中症に注意！

熱中症は気温などの環境要因だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高く、風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。また、マスク着用時には体内に熱がこもりやすくなり、マスク内の湿度が上がることで、のどの渇きに気づきづらくなる傾向にありますので、こちらも注意しましょう。



熱中症の症状

めまい、吐き気、立ちくらみ、筋肉痛や筋肉のけいれん、呼吸が荒くなるなど

熱中症予防

- しっかり食べ、十分な睡眠をとりましょう。
- こまめに水分補給をしましょう。
- 冷房等を利用するなど、できるだけ暑さを避けて過ごしましょう。
- 冷房中でも換気をこまめにし、湿度も高くないように注意しましょう。
- 体調が悪いときは特に注意しましょう。
- マスクを着用して運動するときは、休憩を必ず取り、無理をしないようにしましょう。



6月は「子どもの安全確保推進月間」

大阪府教育庁では、6月を「子どもの安全確保推進月間」、また6月8日を「学校の安全確保・安全管理の日」と定めており、市立学校園でも安全に関する取組み及び危機管理体制の点検を行っています。学校園においては、危険を回避するための行動や危険が迫った時の具体的な対処方法を啓発するなどし、園児・児童・生徒及び教職員の安全に対する意識の向上を図っています。

本市では、「地域の子どもは地域で守る！」を合言葉に、たくさんの愛ガード運動協力員の方々に、登下校時の子どもたちの安全確保にご協力をいただいております。ただ現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分散登校を実施しており、子どもたちの登下校の見守りについては、学校教職員や警察OBのスクールガードリーダーが校区を巡回しています。

今後、段階的に一斉登校とする予定ですが、引き続き子どもたちが安心して元気に学校園生活を送れるよう、学校園・地域・家庭が一体となった安全確保の取組みを推進していきます。

